

榎原が決勝進出



女子シングルスカル準決勝
1組1着で決勝進出を決めた
榎原春奈(忠州)で(共同)

ボート五輪アジア予選

【忠州(韓国)・共同】

ボートのロンドン五輪アジア予選第3日は28日、当地で行われ、男子軽量級ダブルスカルの武田大作(タイキ)浦和重(N.T.T.東日本)組は準決勝を1組1着で通過した。6艇による29日の決勝で3位以内に入れば五輪出場が決まる。

女子シングルスカルでは榎原春奈(早大1年、愛知・旭丘高出)が1組1着で決勝に進み、こちらは5位以内で五輪出場枠を得る。準決勝がなかった女子軽量級ダブルスカルの福本温子(明治安田生命)岩本亜希子(アイリスオーヤマ)組は決勝で3位以内に挑む。

男子シングルスカルの西村好道(東レ滋賀)は

1組5着で決勝に進めず、出場枠を逃した。余裕のレース展開
○:急成長する18歳の榎原は、「力を全部出し切れはこれぐらいのレースはできると思っていた。女子シングルスカルで2着以下を大きく引き離す余裕のレース展開となり、ラストパートは「(決勝に)疲れを残すといはないと思つて軽めにした」と余裕十分だった。

体重制限のない同種目は体格に勝る欧米選手の独壇場。日本女子は過去1度も五輪に出場していないが、「あしたは上位を狙う。力を出し切れれば、それに合った結果がついてくると思う」と意気込みを示した。(忠州・時事)